

児玉高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科・体育コース		生徒数	(男)111 (女)147	計 258				
ホームページ	http://www.kodama-h.spec.ed.jp/										
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR 八高線 児玉駅から徒歩で約 15 分 ・ 朝日バス JR 本庄駅南口停留場からバスで約 30 分 <li style="padding-left: 20px;">ガード下停留所から徒歩で約 10 分 (高校入口停留所から徒歩約 3 分) 										
教育課程等の特徴	「普通科」の 1・2 年次では芸術選択を除き全員が同じ科目を履修する。3 年次では文系と理系に分かれ履修する。「体育コース」では専門科目として 14～16 時間の体育実技や体育理論を履修する。一般体育と合わせると、25 時間以上を履修する。										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔道部：H27～31 関東大会、全国大会や国体に個人団体で出場。準優勝、3 位入賞、5 位入賞。 ・ 陸上競技部：H26・27・30・31 関東大会や全国大会に出場。5 位入賞。 ・ バスケットボール女子：H26 関東大会に出場。 ・ サッカー部：U - 18 北部支部 2 部リーグ所属。 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九州、関西方面への修学旅行(2 年) ・ 男子 11 km、女子 9 km のクロスカントリー大会 ・ 生徒会が企画運営の中心となる体育祭(6 月)と文化祭(9 月) ・ 春と秋の遠足 ・ 1、2、3 学期末の球技大会 ・ スキー実習(1 年体育コース) 										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「児玉高校だより」の地域回覧や地域への掲示。 ・ 地域若者サポートステーションと連携した高校生自立支援事業の実施。 ・ 地元小学校と連携したスポーツ交流事業の実施。 ・ 学習サポーターの配置。 ・ スクールカウンセラーの配置。 ・ 就職支援アドバイザーによる就職サポート。 										
進路	状況	四大	10 人	短大	1 人	専門	36 人	就職	44 人	その他	14 人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進学は 44.8% (大学 9.5%・短大 1.0%・専門学校 34.3%)、就職は 41.9%、その他 13.3%。 ・ 進学者数、就職者数はほぼおなじ。 ・ 大学進学者、短大進学者は推薦又は AO 入試での合格。 									

(生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

<p>< 本校が求める生徒 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動や生徒会活動をがんばりたい生徒 自分の進路を実現したい生徒 勉強を基礎からがんばりたい生徒
<p>< 詳しい入学者選抜基準はこちら ></p> <p>(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)</p>

3 育成方針（埼玉県立児玉高校 ～生徒の成長物語～）

児玉高校は、創立99年の伝統を背景に、個性を伸ばし適性を見だし、自分らしく生きていく基礎を培い、大きく羽ばたき巣立っていく生徒を育てます。

第1学年：個性を伸ばし適性を見だす！

「普通科」では、2クラスを3クラス展開する少人数学級編成を実施し、基礎学力の向上を目指します。また、資格取得に力を入れています。「体育コース」では、国語・社会・数学・理科・英語の5教科を少人数授業展開で、基礎学力の向上を目指します。1年次より体育専門科目を導入し、専門性を高めています。また、資格取得に力を入れています。卒業生を囲んでの懇談会で様々な経験談から多くのことを学びます。職業別体験学習会で、さらに職業選択について考えを深めます。規律ある学校生活を柱に、規範意識や基本的生活習慣の確立を目指します。部活動や学校行事などを通してチャレンジする心を磨きます。



【体育コース スキー実習】



第2学年：自分らしさを磨き、進路を選択！

「普通科」では、1年次の基礎の上に、引き続き学力の向上を目指した取り組みを行います。資格取得にさらに力を入れます。

「体育コース」では、継続して国語・英語の少人数授業展開を実施します。また、体育専門科目を増やし、より専門性を高めます。資格取得にも力を入れます。

卒業生を囲んでの懇談会、職業分野別説明会で職業理解を深めたり、企業・大学等訪問で進路の方向性を絞っていきます。

規範意識や基本的生活習慣の確立で落ち着いた学校生活にします。



【卒業生を囲んで】



【協調学習風景】

第3学年：大きな羽ばたきを実現！

「普通科」では、文系理系に別れ、進路に応じた学力向上を目指します。「体育コース」では、さらに体育専門科目が増え、専門性を高めます。また、基礎学力で築いた力を進路の実現に結びつけます。就職希望者は、企業見学会、進路手続説明会、面接練習で進路を決定し

ます。

進学希望者は、進路手続説明会、面接練習により、進学先を決めます。進路実現に向けて、身だしなみや言葉づかいなど、社会人としての基礎の確立に取り組みます。



【体育コース ゴルフ実習】



【面接指導】

児玉高校の3年間での達成目標！

授業、補習指導、課題テスト、一般常識テストによる学ぶ習慣づくりと基礎学力の定着！
漢検、英検、ビジネス文書検定、電卓検定などの資格取得による専門的知識・技能の習得！
各学年での積み重ね指導を受け、進路希望を実現！
身だしなみや言葉づかいなど、社会人として身につけておく基礎を確立！
規律ある学校生活で基本的生活習慣を確立！
部活動や学校行事などの特別活動を充実させ、活気のある高校生活の実現！

児玉白楊高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	生物資源科・環境デザイン科・機械科・電子機械科		生徒数	(男) 257 (女) 123	計	380			
ホームページ	http://www.kodamahakuyo-h.spec.ed.jp/										
アクセス	JR八高線利用児玉駅より徒歩22分・本庄児玉間バス利用 駅入口下車徒歩17分										
教育課程等の特徴	<p>○「母校を愛し、地域の未来を担う心豊かな産業人を育成する学校」を目指す学校像とし、将来の職業人として必要な専門的な知識・技能を身につけます。</p> <p>○農業の2学科は、様々な選択科目があり、多様な進路選択に対応しています。また、農業クラブ活動や地域と連携した取組を推進しています。</p> <p>○工業の2学科は、生徒一人一人の能力や適性に応じた学習を展開しています。ものづくり競技会や地域イベントなどに積極的に参加しています。</p> <p>○確かな学力の習得のため、毎日10分間の朝学習(英数国)を行い、生徒が主体的に学習活動に取り組んでいます。また、各種資格(国家資格を含む)試験や検定試験を実施しており、生徒たちはその取得に向けて日々努力しています。</p>										
活躍が顕著な部活動	<p>○12の運動部、7つの文化部があり、1年次は全員加入制です。</p> <p>【機械研究部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HONDAエコマイレージ第36回全国大会「デザイン賞」日本一(平成28年度) ・HONDAエコマイレージ第37回全国大会準優勝(平成29年度) ・HONDAエコマイレージ第40回全国大会本校記録更新(令和元年度) <p>【書道部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第15回岐阜女子大学全国書道展」準大賞受賞(平成28年度) ・「第32回全日本高等学校書道公募展」特選(平成28年度) ・「第26回国際高校生選抜書展(書の甲子園)」優秀賞受賞、入選(平成29年度) <p>○「農業クラブ」という農業関連高校ならではの全国クラブもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学校農業クラブ「農業鑑定競技」全国大会 優秀賞受賞(平成26、27、29年度) <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境デザイン科「全国造園デザインコンクール」特別賞受賞(平成29年度)、住宅庭園部門入選(令和元年度) 										
特色ある学校行事	<p>「ポプラ祭」では、毎年大行列ができる農産物の即売や各学科・部活動の発表、競進社資料記念館の公開などがあります。「体育祭」では4団に分かれ、全生徒が熱戦を繰り広げます。「修学旅行」では沖縄等での民泊体験や平和教育を行います。その他、「校内漢字大会」、「ロードレース大会」、「球技大会」、「予餞会」などがあります。</p>										
家庭・地域との連携	<p>地域交流事業(イベント参加など)や学校周辺の清掃活動を積極的に実践しています。また、本校の魅力や専門的技術等を広く理解いただくため、「親子でおもしろ体験講座」を開催したり、「学校だより」(回覧板)により児玉地域全域への情報発信を行っています。</p>										
進路	状況	四大	3人	短大	0人	専門	45人	就職	88人	その他	1人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・高い専門性を有する資格(国家資格等含む)や検定取得に力を入れ、就職や進学等の進路実現は100%です。 ・伝統校として多くの地元大手企業等からの求人があり、「就職内定率」100%を達成しています。 ・大学、専門学校等へ進学を希望する生徒は、全員が合格しています。 									

(生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

<本校が求める生徒>

- (1)将来に対し、明確な目的意識を持ち、主体的に学習していくことが期待できる生徒。
- (2)創意工夫を喜びとし、将来、産業人として地域社会に貢献しようとする生徒。

<[詳しい入学者選抜基準はこちら](#)>

(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)



本校の3年後の目標

卒業後の進路を視野にどのように社会に参画していくか、明確な目標を持つ。
社会的・職業的自立に向け、社会人として必要な能力や態度を身に付ける。

白楊成長の木

一人一人の夢の実現

進路決定に向けた個別支援

進路希望の実現に向けた生徒一人一人への支援を行う。

3年

生徒一人一人の主体的な取組・教職員のきめ細かなサポート・家庭との連携による進路希望の実現。

学校行事・部活動への積極的な参加



活気あふれる体育祭

2年

将来に向けて目標を立てる。インターンシップ、学校見学に取り組み、進路意識を高める。

インターンシップ

この経験をもとに学習意欲を高め、将来の進路に向けての主体的な学習を進めながら、自分の進路を考える。



【2年次のインターンシップ】

1年

保護者と協力し、高校生活に慣れ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。
自己実現に向けて、基礎学力の向上を図る。

進路ガイダンス

将来の夢や職業、働くことなど、自分の生き方について考える。

資格取得に向けた「補習指導」の充実

キャリアアップ

豊かな心と社会性の醸成

地域との協働活動

挨拶・礼法指導

学校生活

学校行事・部活動等

(キャリア教育)

産業人の育成

専門教科

普通教科

主体的な学びの実現と確かな学力の育成

学びの基礎診断

朝学習

母校を愛し、地域の未来を担う心豊かな産業人を育成する学校

本庄高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科				生徒数	(男)405 (女)574	計	979	
ホームページ	http://www.honjo-h.spec.ed.jp/										
アクセス	J R 高崎線 本庄駅から徒歩 15 分										
教育課程等の特徴	<p>県北唯一の進学重視型単位制高校として、生徒の「興味・関心」、「能力・適性」や「将来の目標」に合わせて、多彩な選択科目の中から自分の進路希望に合わせた教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年次は、共通科目（芸術、理科は選択）を学ぶ。数学、英語は少人数授業 ・ 2 年次から、必履修科目以外は自分の進路に合った科目を選択し、少人数で学習 ・ 本校独自の「学校設定科目」で大学入試に対応する発展学習 ・ 3 4 単位の授業（週 2 日（月・水曜日）7 時間授業、隔週土曜日授業（午前）） ・ 特進クラスを 1 クラス設置（学習合宿、外部講師による土曜スーパー講義等の実施） 										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柔道部男子団体関東大会出場（平成 30 年度） ・ 女子硬式テニス部関東公立高等学校大会出場（平成 30 年度） ・ 吹奏楽部第 24 回西関東マーチングコンテスト出場（平成 30 年度） ・ 陸上競技部関東新人大会出場（男子ハンマー投げ）（平成 30 年度） ・ 陸上競技部学校総体関東大会出場（男子ハンマー投げ）（令和元年度） ・ 美術部全国高等学校総合文化祭「絵画の部（油絵）」出品（令和元年度） 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏樹祭（体育祭、文化祭）の生徒会による企画・運営 ・ オーストラリアの姉妹校エッセンドン・キーローカレッジへの海外研修（7～8 月（10 日間）1～3 月（ターム留学：約 2 か月半）） ・ 企業人による講話・座談会 ・ 大学見学会及び報告会（1 年次） 										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館を原則午後 8 時まで開放（PTA・後援会・同窓会による見守り） ・ 土曜授業の学校公開（午前） ・ 図書館地域開放（土曜日の半日または 1 日） ・ 地域の小中学校とのスポーツ交流及び学習ボランティア、市内中学校への出前授業 										
進路	状況	四大	221 人	短大	19 人	専門	52 人	就職	2 人	その他	33 人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進学重視型単位制高校になり、大学への進学実績は確実に向上している。 ・ 「特進クラス」では、国公立大学、難関私立大学への進学者を出している。 									

（生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 月卒業生の実績値）

2 入学者選抜情報

<p>< 本校が求める生徒 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「文武両道」を実践し、変化の激しい新しい時代の中で、主体的に行動し、社会に貢献する「意欲」と「高い志」を持った生徒
<p>< 詳しい入学者選抜基準はこちら ></p> <p>（「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます）</p>



伝統と躍進

埼玉県立本庄高等学校

県北唯一の進学重視型単位制

個性の伸ばし、世界にはばたく
「高い志」を持った生徒の育成

質の高い学びを実現する教育課程の編成と授業の工夫改善
学校行事、部活動の活性化と、第1志望を実現する進路指導の充実
国際理解教育と、地域に開かれ信頼される学校づくりの推進

学力向上策

「学び合い」と「教え合い」
学習法講座の実施



進路実現

< 3年次 >

自分の適性を見極め、将来設計・目標の具現化

- ・進路に合った科目選択（選択6科目）
- ・大学受験への実力養成講座
- ・個別による小論文、面接指導

- ・特進補講 **特進**
- ・土曜スーパー講義
- ・国公立大・難関私大への実力養成講座

土曜授業（学校公開）と週34時間の授業
週2日の7限授業
土曜授業を隔週で実施



国際交流 海外体験事業

オーストラリアの姉妹校との交流及び国際交流事業への支援



< 2年次 >

視野を広げ、確かな学力の形成

- ・進路に合った科目選択（選択15科目）
- ・探求学習で思考力、判断力、表現力を伸長
- ・大学や研究機関、企業でのフィールドワーク

- ・特進補講 **特進**
- ・土曜スーパー講義
- ・学習合宿
- ・大学や研究施設の見学

特進クラス
土曜スーパー講義
特進合宿



学校行事と多彩な部活動

生徒が主体的に取り組む学校行事と36の多彩な部活動で仲間との最高の思い出づくり



< 1年次 >

高校での学習スタイルの確立・基礎力の向上

- ・学習法講座の実施、将来設計学習、キャリア教育
- ・数学、英語は少人数授業で個々の力を伸長
- ・ピアサポート（教え合い・学び合い）

- ・特進補講 **特進**
- ・土曜スーパー講義
- ・学習合宿
- ・大学や研究施設の見学



ほんたん
（本高キャラクター）

本庄高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	定時制	学科	普通科				生徒数	(男) 41	(女) 19	計 60	
ホームページ	http://www.honjo-h.spec.ed.jp/										
アクセス	JR高崎線本庄駅下車徒歩15分										
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 授業は月～金の17:25～20:55、1日あたり4時間授業で4年間学びます。 国・数・社・理・英の5教科、保体、芸術、家庭、情報などを学習し、進路活動に生かしています。 県の支援事業を活用し、きめ細かい指導ができる体制を整えています。 										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> 現在、本校には部活動がありません。 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭(柏樹祭)と卒業式は全日制・定時制合同で開催していますので、大変規模が大きくとても盛大です。 遠足や予餞会等は定時制独自で開催しており、アットホームな雰囲気好評です。 										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 全日制・定時制合同による活発なPTA活動が展開されています。 年2回の給食試食会・授業参観には、保護者の皆さんはもちろん学校評議員、地元中学校教職員等の皆さんにも参加していただいています。 日本語教室の先生や元教員等、地域の方による生徒の学習支援を受けています。 地元のハローワークと連携した卒業後の就職支援を行っています。 										
進路	状況	四大	1人	短大	0人	専門	3人	就職	6人	その他	7人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後は、在学中勤めていた職場で引き続き働く、新たに就職する、大学や専門学校等に進学するなど様々な進路選択があります。近年は、地域に根ざした地元企業への就職や将来のキャリアアップのために進学を希望する生徒もいます。 									

(生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

<本校が求める生徒>

- 登校するまでの昼間の時間を有意義に過ごすため「昼間働きながら(アルバイトでもよい)夜は勉強する!」という気概を持った生徒
- 全日制よりも1年多い4年間の高校生活を「卒業まで頑張る!」という強い意志を持った生徒

<[詳しい入学者選抜基準はこちら](#)>

(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)

埼玉県立本庄高等学校

定時制の課程 生徒成長物語



本庄高校マスコット
キャラクター
「ほんたん」

目標 4年間の高校生活で様々な経験を経て卒業し、
地域・社会で活躍できる人材になる

本高定時制の特色と魅力！

本庄・深谷地域における唯一の夜間定時制課程を設置している高校です。

数学と英語は習熟度別授業を実施しています。また、県教育委員会の様々な定時制支援事業を活用し、生徒一人ひとりへのきめ細かい指導を展開しています。

手作り＆出来立ての給食を提供しており、生徒の健康面・栄養面での維持増進に努めています。

卒業

4年生



【4年生】

- ・いよいよ最終学年！興味関心に
応じた科目選択の授業があります。
- ・最上級生としてリーダーシップ
を發揮し、将来の進路実現に向け
て頑張りましょう！

3年生



【3年生】

- ・本高定時制生活の後半がスタート！
- ・音楽や情報の授業が始まります。
- ・学校行事では全校生徒の中心的存在として活躍しましょう！

2年生



【2年生】

- ・1学年の学習内容を踏まえ、さらに発展的な学習に取り組みます。
- ・就職や進学への進路に応じた授業、活動が始まります。
- ・学校生活にも慣れ、生徒会活動に頑張る生徒もいます！

入学

1年生



【1年生】

- ・国語を中心とした基礎学力の向上と定着を図ります。
- ・英語・数学では習熟度別授業を展開し、一人ひとりに対してきめ細かく指導します。
- ・「昼間働きながら夜学ぶ」夜間定時制の生活に早く慣れましょう！

本高定時制「4年間の目標」

学習面

社会人として必要な基礎学力を身に付けさせる。

生活面

基本的な生活習慣と規範意識を定着させ、自己肯定感を醸成する。

進路面

就職希望者の就職実現率
100%を目指す。

本庄特別支援学校の活性化・特色化方針
(令和3年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・ 学科	小・中・高等部	児童 生徒数	(男)115 (女) 79	計 194
ホームページ	http://www.honjo-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	JR 高崎線 本庄駅から武蔵観光バス(寄居行)栗崎または小茂田バス停下車 徒歩8分 上越新幹線 本庄早稻田駅下車 徒歩22分					
教育課程等 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を推進し、キャリア教育の視点を踏まえ、小学部～高等部まで系統性のあるシラバス(育てる力)を活用し、12年間切れ目のない指導支援を展開している。 ・令和元年度より県内県立学校初となる「コミュニティ・スクール」に指定され、教育を学校内だけで完結させるのではなく、地域の教育資源を活用し、自立と社会参加に求められる資質・能力を育成する「社会に開かれた教育課程」を実践している。 ・高等部の教育課程を4つに分け、一人一人が持っている力を最大限に活かし、どの子も伸びる教育を実践している。(職業自立型・職業移行型・生活学習型・基礎学習型) ・毎週木曜日(午前:職業移行型)・金曜日(1日:職業自立型)生徒と教員と一緒に地域の企業、施設等に働きに出る、本特版デュアルシステム(就業体験学習)を実施している。 ・全学部1対1を基本とした、自立活動の時間における指導を全学部で展開している。 ・2020東京大会に向けて、全校を挙げてオリ・パラ教育を展開するとともに、生涯にわたる多様な学習活動を推進している。 					
特色ある 学校行事や 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハートまつり(文化祭)は各学部の普段の学習の成果を発表する。特に、中・高の作業学習で作った製品販売では、地域の方々にも大好評で、外部から多数の来校がある。 ・高等部の運動部は県内でもトップクラスであり、昨年度は、県特別支援学校陸上大会2連覇をはじめ、サッカー・バスケットボールでも上位入賞を果たしている。 ・卒業生には、陸上競技(走り幅跳び)で東京パラリンピック出場候補がいる。 					
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティ・スクール」として、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を推進している。令和元年度は56件の地域等の連携・協働実績がある。 ・学校-地域 win-win プロジェクト実践研究校として、埼玉工業大学等と連携し、ICT教育を推進する。 ・学校公開を今年度は秋に開催する。 ・近隣学校・施設との交流及び共同学習を各学部で展開している(小:近隣の小学校2校、中:老人ホーム、高:合同部活動の実施)。 ・地元企業、官公庁、福祉施設と連携した本特デュアルシステムを実施している。 ・地元の各種イベントで高等部作業班製品の販売と学校紹介を実施している。 ・学区内の幼児・保護者を対象に、年間10回の就学前早期支援(はーと教室)を開催する。 ・保護者個別支援(ハート相談) 保護者同志の悩みを共有し助け合う「ハートミーティング わいわい」を行い、保護者向け子育て支援の充実を図っている。 					
進路に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部卒業後の進路状況は一般就労が2～3割、福祉的就労が6～7割となっている。 【就業体験学習(本特版デュアルシステム)】 ・1年生から多様な働く場を体験し主体的に進路を選択し決定する力を育てる。 ・本庄デュアルシステム推進連携協議会を組織し、官公庁、企業、商工会議所等と連携し進めている。 【企業就労】製造業(食品、自動車部品)、サービス業(飲食店、小売店)、介護施設等。 【福祉的就労】県北地域・本庄児玉郡市の福祉施設。 ・小学部・中学部の生徒は、それぞれ中学部・高等部へ進学している。 					

(児童生徒数: R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の状況)



県立本庄特別支援学校

～児童生徒の成長物語～

学校ホームページはこちらをクリック



目指す学校像

- 社会的自立を目指し、障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進する学校
- 地域に信頼される特別支援教育のセンターとしての取組を推進する学校

児童生徒個々の課題やニーズに応じた指導支援 **特色1**

- 本人、保護者、職員で作上げる「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」。
- 外部関係機関と連携した指導支援体制を充実。
- 外部専門家による専門的な指導支援と保護者に対するアドバイス。
- 全児童生徒にアセスメントを実施し、根拠のある指導支援。
- 「太田ステージ」「NC-プログラム」「職業教育総合評価表」等
- 支援を要する児童生徒の改善のために迅速なケース会、カンファレンスの実施。

学び合い、高め合い 助け合うファミリー本 **特色7** 教員集団

- 教員の指導支援の足並みを揃える研修
- お互いの授業を見合い、体験する「授業見学、他学部体験授業」
- 実践を報告、みんなで検討する「事例研究会・授業研究」
- 校内職員を講師とした「自主研修」
- 教材の学び合い「教材教具展」
- 全教員が得意分野を登録し、個々の専門性を有効に活かす「人材バンク」
- 近隣校と学び合う「合同学び合い研修」
- 常に先を見据えた学校づくりを目指す「先進校視察」等

シラバスを活用した **特色2** 系統性のある指導支援の充実

キャリア教育の視点を踏まえた系統性のある「本校独自のシラバス」を作成・活用し、各学部段階における育てる力を明確にし、教育指針・指標としています。

自立活動の **特色3** 時間における指導の充実

お子様の自立に向けて、障害による学習上、生活上の困難を克服するために、必要な、知識・技能・態度を身につけ、心身共に健やかに成長する土台を身につけます。

高等部教育課程の複数化 **特色4**

高等部では教育課程を4つに編成し、生徒一人一人が持っている能力を最大限に伸ばし、**障害の状況に、より即した教育**を実践しています。
「職業自立型」「職業移行型」

各学部の教育はこちら

入学前からサポート

各発達段階に応じた12年間「切れ目のない」指導・支援

卒業後もサポート



就学前

学区内の就学前幼児・保護者を対象に**早期支援**（ハート教室）を年10回開催。
就学前からサポートします。

小学部

小学部低学年
日常生活に関わる基礎的な力を育てます。

小学部高学年
生活に関わる力を育てるとともに、集団への適応に必要な力を育てます。

中学部

小学部で学んだ基礎的な力を生活に活用していく力を育て、社会性、認知、コミュニケーションの力を育てます。
将来に備え作業学習を通して働く力を育てます。

高等部

自立と社会参加に向け、社会性、認知、コミュニケーションを中心に高めます。
働くために必要な力を、学校・現場実習・就業体験学習で身につけます。
教育課程複数化により個々の能力を最大限に伸ばします。

卒業後

就職先に訪問し、指導支援を行い、卒業後も見守ります。
生活支援センターと連携し、仕事を含めた生活支援を行います。

県内県立学校初 **特色5** 「コミュニティ・スクール」

学校・家庭・地域との連携

学校との連携
小学校との交流及び合同学習、支援籍学習、高校と合同部活動等

家庭との連携
「ハート相談」、「ハートミーティングわいわい」等の保護者子育て支援の充実等

地域との連携
地元企業、官公庁等と連携した、就業体験学習（本特版デュアルシステム）の実施
「地域と共にある学校」づくりの推進

高等部 運動部の活躍 **特色6**

本校運動部の実績は**県内でもトップクラス**。特別支援学校陸上大会2連覇をはじめ、サッカーやバスケットボール競技においても毎年上位に入賞しています。部活動生のほとんどが初めは運動が苦手でしたが、毎日の積み重ねで運動が好きになっています。
また、陸上競技日本代表として活躍する卒業生もいます。

児童生徒の障害の特性や教育的ニーズに応じた教育を推進し、一人一人が持つ能力を最大限に伸ばす教育を実践します。